

# 私の好きな市民病院の〇〇

～病院総務室編～

当院で働く職員が、「私の好きな市民病院の〇〇」と称しておすすめのスポット、食べ物を紹介します！

## 「吹田貨物ターミナル駅」

駅は駅でも私たちが普段、利用することも、入ることできない駅があるのをご存じですか？

当院南側にある吹田貨物ターミナル駅はJR岸辺駅跨線橋や、病棟デイルームから見えます。貨物専用の駅で、コンテナを貨物車に乗り降ろしをしています。

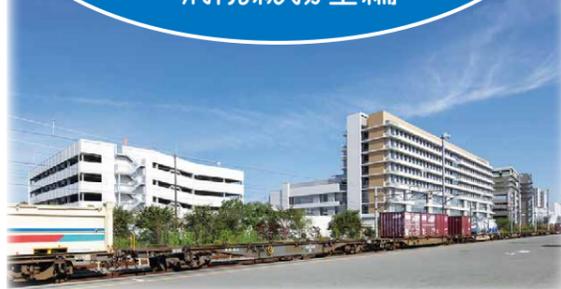
私は幼少期にJR沿線に住んでいたこともあり、貨物列車が通るたびに大きな荷物をたくさん運んでどこで保管するのだろうと不思議に思っていたことを覚えています。この吹田貨物ターミナル駅は平成25年に開業し、全長約7kmもあります。また、普段見ることのできないトップリフター（コンテナ用フォークリフト）が荷役しています。病院の近くに寄られた際は当院から見える吹田貨物ターミナル駅をご覧ください。

(病院総務室 Y)



JR岸辺駅の南西方面のターミナル駅(四角田み箇所)

ターミナル駅は吹田ケーブルテレビで紹介されています。



ターミナル駅側から臨んだ市民病院



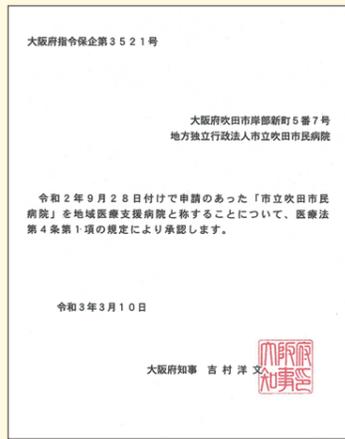
## 道路案内標識を設置しました

この度、当院では新たに道路案内標識を設置しました。当院へお越しの際にはこの案内標識をご活用ください。



## 地域医療支援病院 取得しました

当院は令和3年3月10日付で医療法にて定める「地域医療支援病院」として承認されました。



平素より市立吹田市民病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。ご意見がございましたら市立吹田市民病院までご連絡ください。

編集・発行 市立吹田市民病院 広報委員会

# 吹田市民病院 だより No.77

〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号  
TEL (06) 6387-3311  
FAX (06) 6380-5825  
ホームページ  
https://www.suitamhp.osaka.jp  
メールアドレス  
shomu@mhp.suita.osaka.jp



お酒を飲む人だけじゃない

## 脂肪肝に要注意



肝臓に脂肪がたまる脂肪肝。進行すると肝硬変や肝臓がんになります。

肝臓は通常3～4%の脂肪がありますが、脂肪肝は肝臓に30%以上「中性脂肪」がたまった状態のことです。かつては過剰な飲酒が原因と考えられてきましたが、アルコールをあまり飲まなくても肥満、運動不足などの生活習慣によって脂肪肝が発症します。国内の患者は推定1千万人ともいわれています。

### 脂肪肝が進行すると…

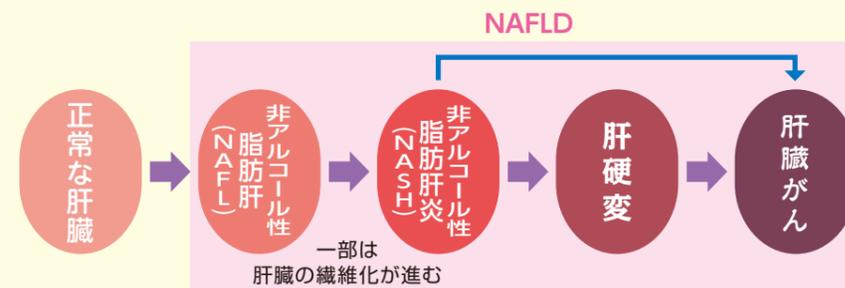
肝臓の働きの一つにアルコールの分解があります。その際に肝臓では中性脂肪の合成が進み、脂肪肝になります。フォアグラという食べ物がありますが、まさに肝臓がフォアグラ化する現象です。

昨今では、お酒の飲み過ぎに限らず、食生活や運動不足が原因で余ったエネルギーが肝臓の中で中性脂肪へ変化し、脂肪肝になることが知られており、**非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD、ナッフルディ)**と呼ばれています。NAFLDの一部は肝炎につながり、肝臓がさらに硬くなる繊維化が起きて、**非アルコール性脂肪肝炎 (NASH、ナッシュ)**という病気になります。さらに、これが進行すると肝硬変や肝臓がんになります。(下図参照)



アルコール過剰摂取、栄養の過剰摂取・運動不足で、肝臓は繊維化する

### 脂肪肝が悪化すると



(裏面に続く)

### 飲酒習慣も要注意

アルコールの摂取量にも注意を払う必要があります。日本消化器学会・日本肝臓学会によると、1日あたりの飲酒量(目安)は純アルコール量が男性で30グラム以上、女性では20グラム以上のお酒を毎日飲み続けるとアルコール性肝障害を起こすといわれています。(右記例参照)

家での生活が長く、飲酒量が増えている方や、習慣化している方は特に注意が必要です。

### こんな方は要注意

- 肥満体質の方・糖尿病の方
- 運動をしない方
- 脂っこいもの、甘いものが好きな人
- 飲酒が習慣化している方
- 閉経後の方

#### 飲酒量の目安

ビール	大ビン1本強 (750ml)	
日本酒	1合半	
ワイン	グラス2杯	
ウイスキー	ダブル1杯半	

※飲酒量はあくまで目安です。



(消化器内科主任部長)  
**吉田 雄一**  
日本肝臓学会専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
平成28年より当院消化器内科部長

### 人間ドックなどで「脂肪肝」を指摘され、そのまま放置していませんか?

主治医の先生から「脂肪肝」かもしれない、と言われていませんか? 近年、「脂肪肝」(NAFLD)の患者さまが急増しています。なかでも、肝硬変、肝臓がんに進行する可能性がある「非アルコール性脂肪肝炎」(NASH)が問題となっています。

当科では、北摂の市民病院で初となる脂肪肝の外来を開設しました。脂肪肝専門外来では、血液検査、超音波検査やMRエラストグラフィ、画像検査、病理学的検査などを駆使して、正確な診断を行い、それぞれの患者さまに適切な治療法ならびに今後の方針を提案させていただきます。

希望される方はかかりつけの医療機関(診療所または病院)から紹介状(診療情報提供書)を作成いただき、ご予約をお取りいたします。なお、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の管理は、引き続き、かかりつけの先生のもとでおこなって頂きます。

脂肪肝についての動画はこちら

<https://youtu.be/Onjk4NTKkQk>

当院脂肪肝専門外来のご案内はこちら

<https://www.suitamhp.osaka.jp/medical/special/fatty.html>

# 大規模災害訓練を行いました

2月19日(金)に、当院にて吹田市内で震度6の直下型地震が発生した想定で災害訓練を実施しました。

例年とちがい、今年の訓練は新型コロナウイルス感染症防止の観点から規模を縮小して、机上での実施となりました。当院の多職種からなる災害対策委員会のメンバーを中心に医師、看護師、医療従事者らは各自の目的・目標を踏まえ自身の役割を理解し、訓練に臨んでいました。



## 「豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修」を行いました。



2月20日(土)に、豊能地区の医療機関が連携して、「豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修」を行いました。

このプロジェクト研修には地域災害拠点病院の済生会千里病院・大阪大学医学部附属病院が中心となり、豊能地区の医療機関が当院を含め12施設が災害救急医療情報システム(EMIS イーミス\*)を使用し、実際、システム上に入力する訓練を行いました。また、コロナ禍でのトリアージ方法を演題として机上演習を行いました。

本年は、ウェブ会議システムを利用しての実施となりましたが、他病院での災害対策時の体制などを共有することができ、大変有意義な研修となりました。

災害拠点病院



連携

一般病院



## 災害発生



EMIS

Emergency Medical Information System

※EMIS(イーミス)医療機関、医療関係団体、消防機関、保健所、市町村等との情報ネットワーク化及び国、都道府県間との広域情報ネットワーク化を図り、災害時における被災地内、被災地外における医療機関の活動状況など、災害医療に関わる情報を収集・提供し被災地域での迅速かつ適切な医療・救護活動を支援することを目的としたシステム。大阪府では、大阪府救急・災害医療情報システムより入力する。